

議案第 95 号

令和 2 年度久御山町下水道事業会計補正予算（第 2 号）

（総則）

第 1 条 令和 2 年度久御山町下水道事業会計の補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第 2 条 令和 2 年度久御山町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第 3 条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出	千円	千円	千円
第 1 款 下水道事業費用	764,444	41	764,485
第 1 項 営業費用	689,711	41	689,752

（資本的収入及び支出）

第 3 条 予算第 4 条本文括弧書中「不足する額 178,954 千円」を「不足する額 178,980 千円」に、「引継金 29,474 千円」を「引継金 29,500 千円」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
支 出	千円	千円	千円
第 1 款 資本的支出	351,841	26	351,867
第 1 項 建設改良費	98,361	26	98,387

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）

第 4 条 予算第 9 条に定めた経費の金額を次のように改める。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	千円	千円	千円
職員給与費	33,207	67	33,274

令和2年12月7日提出

久御山町長 信 貴 康 孝

予算に関する説明書

- 第1 令和2年度久御山町下水道事業会計補正予算（第2号）実施計画
- 第2 令和2年度久御山町下水道事業補正予算（第2号）予定キャッシュ・フロー計算書
- 第3 令和2年度久御山町下水道事業会計補正予算（第2号）給与費明細書
- 第4 令和2年度久御山町下水道事業予定貸借対照表
- 第5 注記表

第1 令和2年度久御山町下水道事業会計補正予算（第2号）実施計画

収益的収入及び支出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	下水道事業費用		764,444	41	764,485	
	1	営業費用	689,711	41	689,752	
		1 管 渠 費	39,517	41	39,558	

資本的収入及び支出

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	資本的支出		351,841	26	351,867	
	1	建設改良費	98,361	26	98,387	
		1 事 務 費	7,533	26	7,559	

第2 令和2年度久御山町下水道事業補正予算（第2号）予定キャッシュ・フロー計算書
（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：千円）

区 分	補 正 前	補 正 額	計
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	28,866	△ 41	28,825
小計	232,221	△ 41	232,180
業務活動によるキャッシュ・フロー	179,069	△ 41	179,028
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 60,905	△ 26	△ 60,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97,910	△ 26	△ 97,936
資金増加額（又は減少額）	△ 15,152	△ 67	△ 15,219
資金期末残高	165,950	△ 67	165,883

第3 令和2年度久御山町下水道事業会計補正予算（第2号）給与費明細書

1 総括

ア 会計年度任用職員以外の職員

(単位：千円)

区 分	職員数 (人)		給 与 費				法定福利費	合 計
	特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
補正後	8	(0) 4	387	14,440	13,314	28,141	5,133	33,274
補正前	8	(0) 4	387	14,440	13,314	28,141	5,066	33,207
比 較	0	(0) 0	0	0	0	0	67	67

(単位：千円)

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	時間外勤務 手 当	管理職手当	期末勤勉 手 当	退職手当 組合負担金
	補正後	834	763	686	499	2,067	530	6,056	1,879
	補正前	834	763	686	499	2,067	530	6,056	1,879
	比 較	0	0	0	0	0	0	0	0

- 備考
- 1 手当及び法定福利費には、賞与引当金繰入額及び法定福利費引当金繰入額を含む。
 - 2 期末勤勉手当には、賞与引当金繰入額を含む。
 - 3 この表は、給料をもって支弁される会計年度任用職員以外の職員で予算の積算の基礎となったものについて記載している。
 - 4 ()内は、再任用短時間勤務職員で外書きしている。

第4 令和2年度久御山町下水道事業予定貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

ア 構 築 物	10,479,214	
減価償却累計額	1,232,654	9,246,560
イ 機 械 及 び 装 置	140,682	
減価償却累計額	39,145	101,537
ウ 車 両 運 搬 具	1,306	
減価償却累計額	0	1,306
エ 工 具 器 具 及 び 備 品	1,437	
減価償却累計額	249	1,188

有形固定資産合計 9,350,591

(2) 無 形 固 定 資 産

ア 施 設 利 用 権		820,125
-------------	--	---------

無形固定資産合計 820,125

固定資産合計 10,170,716

2 流 動 資 産

(1) 現 金 ・ 預 金 165,883

(2) 未 収 金

ア 営 業 未 収 金	91,817	91,817
-------------	--------	--------

未収金貸倒引当金 898 90,919

流動資産合計 256,802

資 産 合 計 10,427,518

負債の部

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	ア 建設改良費等充当企業債	2,161,949	2,161,949	
	固定負債合計			2,161,949
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	ア 建設改良費等充当企業債	238,440	238,440	
	(2) 未払金			
	ア 営業未払金	6,617		
	イ 営業外未払金	18,130		
	ウ その他未払金	77	24,824	
	(3) 引当金			
	ア 賞与引当金	1,769		
	イ 法定福利費引当金	344	2,113	
	(4) その他流動負債			
	ア 預り金	500	500	
	流動負債合計			265,877
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		6,779,930	
	長期前受金収益化累計額		831,398	
	繰延収益合計			5,948,532
	負債合計			8,376,358

資本の部

6	資本金			
	(1) 資本金			
	ア 固有資本金	1,383,845		
	イ 出資金	550,700	1,934,545	
	資本金合計			1,934,545
7	剰余金			
	(1) 利益剰余金			
	ア 減債積立金	4,600		
	イ 当年度未処分利益剰余金	112,015		
	利益剰余金合計		116,615	
	剰余金合計			116,615
	資本合計			2,051,160
	負債資本合計			10,427,518

第5 注記表

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

構築物 10～50年

機械及び装置 10～20年

車両運搬具 4年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

施設利用権 45年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

本町は、京都府市町村職員退職手当組合に加入しており、下水道事業会計は、当該組合に一般負担金を拠出しているが、一般会計との間での「久御山町下水道事業会計に属する企業職員に対する退職手当の一般会計負担額に関する協定書」に基づき、追加的な費用負担である当該組合への特別負担金は、全額一般会計において措置することとなっているため、下水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、一般負担金拠出時に費用処理を行っている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 担保に供している資産及びこれに対応する債務

該当事項なし

2 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は141,969千円である。

3 重要な係争事件に係る損害賠償義務等に関する事項

該当事項なし

4 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当及び勤勉手当として6,056千円を支給するため、賞与引当金1,769千円を取り崩す。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

令和2年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費として1,175千円を支出するため、法定福利費引当金344千円を取り崩す。

(3) 貸倒引当金の取崩し

令和2年度において、債権45千円を不納欠損処理するため、貸倒引当金45千円を取り崩す。

III. セグメント情報の開示

単一セグメントであるため、記載を省略している。

IV. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

1 重要な非資金取引

該当事項なし

V. 重要な後発事象

該当事項なし

説明資料

令和2年度久御山町下水道事業会計補正予算（第2号）実施計画明細書

収益的收入及び支出

支 出

第1款 下水道事業費用 第1項 営業費用 (単位：千円)

目 節	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 管 渠 費	39,517	41	39,558	
4 法 定 福 利 費	1,404	41	1,445	

資本的收入及び支出

支 出

第1款 資本的支出 第1項 建設改良費 (単位：千円)

目 節	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 事 務 費	7,533	26	7,559	
4 法 定 福 利 費	953	26	979	

固 定 資 産 明 細 書

(1) 有形固定資産明細書

資 産 の 種 類	年度当初 現在高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額	年 度 末 現 在 高	減 価 償 却 累 計 額			年度末償却 未 済 高	
					年度当初 現在高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額		累 計
構 築 物	10,427,115	52,099	0	10,479,214	927,014	305,640	0	1,232,654	9,246,560
機 械 及 び 装 置	140,682	0	0	140,682	29,718	9,427	0	39,145	101,537
車 両 運 搬 具	52	1,306	52	1,306	49	0	49	0	1,306
工 具 器 具 及 び 備 品	1,437	0	0	1,437	0	249	0	249	1,188
建 設 仮 勘 定	0	53,405	53,405	0	0	0	0	0	0
計	10,569,286	106,810	53,457	10,622,639	956,781	315,316	49	1,272,048	9,350,591

(単位：千円)

(2) 無形固定資産明細書

資 産 の 種 類	年度当初現在高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額	当 年 度 減 価 償 却 費	年 度 末 現 在 高
施 設 利 用 権	797,721	61,297	0	38,893	820,125
計	797,721	61,297	0	38,893	820,125

(単位：千円)

